



～四国の国宝修理の職人が見学～

平城宮跡東楼の現場に、遠方より見学者が来ました。香川県坂出市で、国宝神谷神社本殿の保存修理工事を担当している皆さんです。国宝神谷神社本殿は鎌倉時代の建物で、令和4年に落雷による火災で損傷し、現在修理工事を行っています。

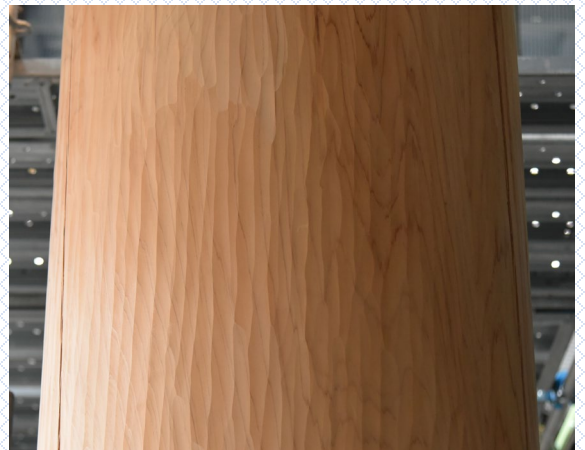
今回の見学の目的は「やりがんな」かけ仕上げです。国宝の修理工事では、建った当時の古い道具を使います。「やりがんな」も古い道具の一つで、木材の表面を仕上げる道具です。

ところが、宮大工といえど、なかなか使うことがありません。そこで、「やりがんな」を使う、平城宮跡東楼の現場に、使い方を調べに来たということでした。

現場では、平城宮跡の現場で腕を振るう宮大工の方にご協力頂き、国宝の修復に向け、保存修理のために非常に有意義な見学になりました。



「やりがんな」で木材を削っているところ



「やりがんな」で削った木材



道具の研ぎ方、体の使い方・・・、宮大工どうし実演も交えながら細かな意見交換。



「やりがんな」にもさまざまな種類があり宮大工の工夫を感じます。

～魅せる！現場（工房編：山本瓦工業）を開催！～

2024年9月26日 定員20名 学生向け 無料
(奈良県生駒郡平群町機原520-1)

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>



場所



申込み